



教師を目指す学生による「学生文化」「学校文化」の創造と
新たな「学生と学校のWin-Winの関係」の構築

東浦町SP通信

～東浦町では、学生ボランティアを“職員の仲間”という思いを込めて、
「SP」または「スクールパートナー」と呼んでいます。～

第1号

2026年4月23日

編集 緒方 なな
東浦町教育委員会
SPコーディネーター

2026年度、始まる!!

2026年度が始まりました。昨年度に引き続き、今年度もSPコーディネーターを務めます緒方ななです。昨年度活動してくれたSPさん、改めまして、ありがとうございました。学生のみなさんがいなければ成り立たない事業、それがこのSP活動です。SP活動も今年で14年目に入りました。また、シニアSP（卒業生）として、この素敵な文化を脈々と続けてくださっている方にも感謝しています。来てくれるSPさん全員が、意識高く活動に取り組み、誠意を持って子どもたちに向き合ってくれるからこそ、学校・保護者そして子どもたちからも信頼の厚い活動になっています。Win×4（SP活動に関わる①学生②子ども③学校（教師）④保護者（地域）その4者にとって“Win”な活動になるよう、今年もコーディネーターとして精一杯みなさんのサポートができればと思います。何か困ったこと、相談、活動に関する希望などがあれば、気軽にお声がけください。LINE公式アカウントでの連絡でも構いません。今年度もどうぞ、よろしくお祈りします。



昨年度3月19日、小学校の卒業式でした。片葩小学校にはこの日、なんと7人ものSPさんが来てくれました。当日は、昇降口での案内や受付、会場の片づけなどをしてくださいました。私は当日保護者として参加しましたが、「こんなに多くのSPさんが来てくれて、ありがたいな。うれしいな。」と思っていました。学校にとっても、より多くの大人の手と目があるのは助かったのではないかと思います。卒業式は、6年生にとって小学校での“最後の学びの時間”です。小学校の先生を目指すSPさんにとっては、自分が将来担任する子どもたちのゴールの姿がイメージできたのではないかと思います。卒業式ならではの雰囲気、空気感もあったと思います。来てくれたSPさんありがとうございました。そして、この4月から教壇に立っているSPさん。まずは1年間、頑張ってくださいね。卒業した全てのSPさんの現場での活躍を祈っています！

